

試験開始の指示があるまで、この問題の中を見てはいけません。

**文化ファッション大学院大学
ファッションクリエイション専攻
2026年度Ⅰ期 入学試験**

小論文

試験時間 10:15～11:15

(注意事項)

- ・試験監督から指示がある持ち物以外は、試験中かばんにしまってください。
- ・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末での時間の確認は禁止します。
(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいものは不可。)
試験会場内では、携帯電話・スマートフォン、ウェアラブル端末等の電源は切ってかばんにしまってください。(マナーモード不可。)
- ・録音、録画、撮影、配信、SNS での発信等の手段によって、試験に関係するすべての内容を外部に漏洩することを禁止とします。万一これらの行為が発覚した場合、全試験科目の得点を無効とします。(合格後に発覚した場合は、合格を取り消します。)
- ・配布する問題用紙・解答用紙は、指示があるまで開けないでください。
- ・無記名の場合は無効となりますので、受験番号・氏名を忘れずに記入してください。
- ・不正行為のあった場合は、答案を無効とします。
- ・問題に関する質問は一切受け付けません。問題以外のことで試験監督に連絡することがある場合は、挙手してください。
- ・試験時間終了まで退室することはできません。

文化ファッション大学院大学 2026 年度 I 期入学試験

■ ファッションクリエイション専攻 小論文 問題用紙 ■

受験番号

氏 名

【問】

ファッションデザインは「時代を映す鏡」に例えられる。以下の文章では、その鏡に移った姿を「テーラードジャケット」と「パジャマ」のスタイルで提示している。その内容から今の時代感を読み取り、2026 年春夏を想定した新たなファッションスタイルについて 1200 字以内で述べなさい。

尚、説明の際にはデザインコンセプト・キーワードを提示しても構わない。

26 年春夏欧州メンズファッションウィークで、アイテムの使い方に変化が起こっている。見慣れた服も異なる使い方をすると新しいスタイルを作ることができる。

例えば、春夏はテーラードジャケットをパンツにたくし込んでシャツのように着るスタイルが広がった。テーラードジャケットといえば、男性らしさや権威の象徴。実際に米国のトランプ大統領はその権威を強調したのか、いまだにダークスーツに赤のネクタイという「パワースーツ」スタイルのままだ。ジャケットをパンツにたくし込むことで、そうした社会的な関係性や捉え方が変わる。まるで軽やかなシャツのようになり、ユーモラスでさえある。

下着や肌着、パジャマを外出着のように見せるのも広がった。昨今のウィメンズのトレンドの体のラインを見せるスタイルとも少し異なる。完璧なエレガンスよりも、そこに親しさや温かみを加えることで新鮮さを出す。90 年代初めのグランジムーブメントの時に、ニルヴァーナのカート・コバーンがパジャマを着ていたのを思い出す。

もちろん、こうした着こなし方は、社会や環境の変化を背景にしている。欧州の夏が 40 度近くに到達する時代には、それにふさわしい着方が生まれてくる。そして豪華さや権威の誇示ではない親密さもまた、今の時代の必然なのかもしれない。

《めてみみ》26 年春夏コレクションに見る新しいスタイル

[織研新聞](#) 2025.07.11 版より引用